

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	競技・青少年スポーツ推進事業				シート番号	008-093
担当部署名	文化観光	局	スポーツ	部	スポーツ推進	課 評価責任者(課長名) 小川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	スポーツと健康づくりの推進	有
	2	事業開始年度	昭和 22 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	スポーツ基本法			
	4	関連計画	第二次堺市スポーツ推進計画			
5	事業実施の経緯	<p>●堺市PR業務は、本市を広く全国に発信し認知度向上を図ることを目的として、堺を拠点とする堺プレイヤーズ(平成21年度～)、セレッソ大阪堺レディース(平成25年度～)に委託しており、トップレベルチームと連携した様々な事業を実施している。</p> <p>●堺市学生競技スポーツ大会出場奨励金については、青少年のスポーツ活動及びアマチュアスポーツの普及及び推進を図るため平成31年に制度を改正した。</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input checked="" type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	<p>●自主的・主体的にスポーツ活動に関わっている者(スポーツを「する人」「見る人」「ささえる人」)。</p> <p>●堺市スポーツ協会、堺市スポーツ少年団の加盟団体・登録者及び堺市ボランティアスポーツ指導者会</p>			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	<p>各種スポーツ団体との連携を図りながら、スポーツ人口を拡大(青少年の健全育成並びに青少年期からスポーツ活動の習慣化を図り、生涯スポーツとしてのスポーツ実施者の増加へと繋げる)するとともに、トップレベルの選手やチームに接する機会を提供することで、スポーツに対する関心を高め、総合的にスポーツ人口(実施者・愛好者)の拡大を図る。また、各種スポーツ団体の加盟団体・登録者の育成・強化、競技レベルの向上を図る。</p>			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>●各種スポーツ団体への支援 堺市スポーツ協会や堺市スポーツ少年団の活動を支援し、各スポーツ団体および市民のスポーツ活動の活性化を図る。 ・大阪府総合体育大会(6～8月)、スポーツ少年団中央大会(7月)、プレイヤーズカップ(9月)、市民マラソン(2月) 等</p> <p>●トップレベルチームとの連携 ・本市をホームタウンとする堺プレイヤーズ及びセレッソ大阪と連携し、トップレベルチームの知名度を活かして市内外に本市のPRを実施するためユニフォームに市章ロゴを掲出(年間) ・スポーツ教室や指導者派遣等、トップレベルチームとの連携事業を実施</p> <p>●堺市学生競技スポーツ大会出場奨励金 学生のスポーツ活動を支援するとともに世界大会や全国大会などレベルの高い大会への出場に対する意欲を向上させるため、全国大会規模以上の出場者に対して奨励金を交付する。(随時)</p>			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 堺スポーツ協会、堺市スポーツ少年団				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
事業コスト	事業費 (a)	千円	18,725	21,415	18,725	20,485	15,405	14,205	14,709	
	主な事業費内訳	広告料	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
		堺市学生競技スポーツ大会出場奨励金	千円	6,320	9,010	6,320	8,080	3,000	1,800	3,000
		堺スポーツ協会補助金	千円	4,260	4,260	4,260	4,260	4,260	4,260	3,476
		堺市スポーツ少年団補助金	千円	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,233
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他(堺市スポーツ振興基金)	千円	6,320	9,010	6,320	8,080	3,000	1,800	3,000
		一般財源	千円	12,405	12,405	12,405	12,405	12,405	12,405	11,709
	12	人件費 (b)	千円	22,140	8,200	14,760	8,200	8,100	8,100	8,200
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	40,865	29,615	33,485	28,685	23,505	22,305	22,909	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	競技・青少年スポーツ推進事業	シート番号	008-093
-------	----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	<p>●各種スポーツ団体への支援 スポーツ少年団中央大会や市民マラソンなど多くの事業支援を実施し、各団体のスポーツ活動の活性化を促進し、青少年の心身の健全育成や高齢者の健康づくりなどにつなげた。 スポーツ少年団中央大会参加者数: 9種目・2,915名、堺市民マラソン参加者数: 2,477人等</p> <p>●トップレベルチームとの連携 本市をホームタウンとする堺プレイヤーズ及びセレッソ大阪堺レディースのユニフォームに市章ロゴを掲出し、選手が着用することで全国の試合会場や各種イベント開催時に本市をPRを行った。</p> <p>●堺市学生競技スポーツ大会出場奨励金 世界大会や全国大会などレベルの高い大会への出場者に対し奨励金を交付し活動支援を実施した。 令和元年度交付件数: 140件</p>						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		堺市学生競技スポーツ大会出場奨励金交付件数	件	目標値	180	180	180	90
				実績値	270	279	140	
				達成率	150%	155%	78%	
	評価			良い	良い	少し悪い		
	算出方法・設定根拠など		予算額及び交付実績から算出した数値を目標値としている。令和2年についてはコロナウィルスの影響を考慮。					
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		堺市スポーツ協会主催イベント参加人数	人	目標値	22,500	22,500	22,500	22,500
				実績値	24,411	21,514	24,992	
達成率				60%	96%	111%		
評価	良い			普通	良い			
算出方法・設定根拠など		種目別優勝大会及び堺市民マラソンの募集定員数を上回ることを目標としている。						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	堺市学生競技スポーツ大会出場奨励金交付件数	件	270	279	140
	②	上記①にかかる年間経費	千円	9,010	8,080	1,800
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	33,370	28,961	12,857
	備考(算出についての説明等)					
18	区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①	堺市スポーツ協会加盟団体登録人数	人	18,267	23,765	24,444
	②	上記①にかかる年間経費	千円	4,260	4,260	4,260
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	233	179	174
備考(算出についての説明等)						

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	●各種スポーツ団体への支援 生活習慣の変化に伴い、特に子どもがスポーツをする環境が限られてきているなかでも各団体の登録者数は増加している。今後も、各団体と連携して様々なスポーツ活動の機会を提供していくことにより、市民がスポーツに親しむ機会を創出することは重要である。	
	●トップレベルチームとの連携 トップレベルチームの知名度を活かした本市PRの目的のもと、堺プレイヤーズについてはプレーオフへ進出し、試合の様子がテレビ放映されるなど特にPR効果は高かったものとする。	
	●堺市学生競技スポーツ大会出場奨励金 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により1月～3月に予定されていた各種の全国大会が中止されたことにより交付実績が減少した。なお、制度改正により対象を学生に重点化したことで、例年と比較しても交付件数及び交付金額の圧縮が実現できており経費削減の効果があつた。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	競技・青少年スポーツ推進事業	シート番号	008-093
-------	----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 トップレベルチームとの連携により、子どもをはじめとしたスポーツ教室への協力や、各チームがもつブランド力を活かした本市のPRを実施していることから、他に代替できる性質のものではないため廃止できない。各種団体への支援事業を廃止した場合、子どもが出場する大会をはじめ多くの市民のスポーツ活動機会を奪うことになり影響が大きい。奨励金についても制度見直しにより交付金額の適正化に努めている。		
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>休止した場合の再開時期</td> <td> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 </td> </tr> </table> 市民の健康的な生活や子どもが夢に向かって努力する機会・場を奪う可能性がある。	休止した場合の再開時期	<input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	休止した場合の再開時期	<input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降				
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 各種団体への補助金については、すでに見直しによる縮減を行っているが、今後新たに協賛金を得るなど、事業手法の改善について検討する。		
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 スポーツイベントを実施する際は、日本スポーツ協会等のガイドラインに沿った感染症対策を講じる。多くの方が参加する場合には3密を防ぐため開会式の簡素化等対策を実施する必要がある。		
24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 これまでも民間企業からの協賛を得るなど連携をしてきたが、民間との連携を強化していくことに加え、企業メリット創出のためイベントへの出展なども実施することで、参加者の満足度を向上することが可能な取組を検討する。			
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降			
		所見 ・各スポーツ団体が実施する各種大会等は、継続的な市民の運動機会の確保に寄与していることから廃止はできないが、事業手法を見直すことで公金投入の縮減を図る。 ・奨励金制度については、世界大会や全国大会に出場する学生の励みになり、本市のPRIにもつながるため継続していく。 ・トップレベルチームとの連携は、各チームがもつ知名度を活かして本市のPRを実施できる重要な機会であり、今後も継続していく。				